

広報はばたき

第49号

新発田青少年健全育成市民会議



とどけ！わたしのハート
つたえたい！このおもい

わたしの主張

「新発田市大会」

7月20日（土）、生涯学習センターを会場に、市内10中学校の代表生徒が、「今」の自分の思いを、自分の言葉を使って発表するわたしの主張を開催しました。

中学生の「今」だから感じる素直な気持ちは、とても爽やかで清々しく、来場者の心にジーンと響くすばらしい時間となりました。

その要旨を掲載します。

また、当日は、「市民大会」も同時開催し、青少年健全育成成功労者表彰、東中学校区すこやかな子どもを育てる会による活動紹介、新発田高等学校合唱部による記念アトラクションも開催し、会場は大いに盛り上がりました。

- 1 横野 文矢さん (紫雲寺 3)
- 2 宮本志緒理さん (東 3)
- 3 井上 陽乃さん (川 東 3)
- 4 長谷川彩乃さん (本 丸 3)
- 5 渡邊 心さん (豊 浦 3)
- 6 笠原 夢芽さん (猿 橋 3)
- 7 中野 央睦さん (加治川 3)
- 8 佐藤穂乃華さん (佐々木 3)
- 9 和田かな子さん (第一 3)
- 10 倉島 優飛さん (七 葉 3)

【発表順】

私の決意

紫雲寺中学校3年 横野 文矢

兄は、自分の感情や行動をうまくコントロールできません。そんな兄にひどいことを言ってしまったとき、母にひどく叱られました。障がい者も健常者も変わりはありません。私たちが障がいについて学び、彼らの特性を理解しようとすれば、彼らを助け、心の支えになることができます。

私は、決意を新たにしていきたいと思います。これからも兄と向き合っていきたいです。

ペットとは何か

東中学校3年 宮本 志緒理

皆さんは、ペットを飼っていますか。

私は、猫を飼い始めて、「ペットは飼い主を強くさせてくれる大切な家族だ」ということを実感しました。私は、ペットのおかげで夢を見つづけることができました。ペットは飼い主に影響を与えてくれる大きな存在です。それはもう「家族」という言葉以外当てはまらないのではないのでしょうか。

高齢者、ドライバーの運転免許

自主返納を進めるには

川東中学校3年 井上 陽乃

高齢者ドライバーによる事故のニュースをよく見るが、運転免許を自主返納する人は少ない。だからといって、免許返納を義務化すればよいのだろうか。

市街地に住んでいない人にとって、車は生活に欠かせないものである。免許返納を進めるには、地域ぐるみで交流し、免許返納した高齢者を支え合う仕組みが必要だ。

寄りそいあい支えあう社会へ

本丸中学校3年 長谷川 彩乃

高齢ドライバーによる事故が多発している。高齢者が免許を自主返納できるよう、車がなくても便利で、楽しみがある社会にしていきたいと思います。

私は、運転を続ける祖父に寄り添い、会話を大切にしていきたい。また、この問題に限らず、困っている人がいたら話を聞き、一緒に解決策を考え、よりよい社会を築いていきたい。

仲間

豊浦中学校3年 渡邊 心

最高の仲間は、自分自身の成長にとってかけがえのない存在です。

小六の時、運動会で団長を務めた私は、自信を失いましたが、仲間のおかげで自信を取り戻し、応援をとることができました。中学ではバスケット部長を務め、部員のみならず心一つに戦え、嬉しかったです。

私は、仲間と共に失敗を乗り越えて成長していきます。これからも。

「また、明日。」

猿橋中学校3年 笠原 夢芽

入院していた母を見舞うと、帰り際はいつも「また明日。」という一言でした。

「明日」も会えると信じたい私は、伝えなかった「ありがとう」を後回しにしました。ですが、永遠に伝えられなくなり、伝えたくても伝えることができない後悔の痛みを知りました。

皆さんは大切な人に感謝の気持ちを伝えられていますか。

ロボットで変わる世界

加治川中学校3年 中野 央睦

ロボットは便利だ。しかし、開発途中の問題点が多い。私自身もロボットの大会に出場しており、その問題に直面した。練習や経験を積み、技を磨き、自信に変えてきた。

今、ロボットがなくなったら、私たちは便利で安全な生活を失ってしまふ。ロボットと人間が調和をとれる世界を作るため、ロボットについてさらに学び、知識と経験を生かしていきたい。

輝く人

佐々木中学校3年 佐藤 穂乃華

私は、相手の価値観を尊重し、全否定はしません。まず、どんな発言も受けとめてから、それに対する意見を言うようにしています。なぜなら、否定されなかったら安心するし、人は明るくなると思うからです。

私は、人の思いを大切にすると、そんな日常をみんなと過ごしたいです。このことを胸に、みんなと共に素敵な人生を歩んでいきたいです。

命さえあれば。

第一中学校3年 和田 かな子

辛く苦しい闘病生活の中で、私は、無邪気な小児病棟の子供達から希望をもらった。病院の先生や看護師さん、両親など、たくさんの人からは励ましと愛を。助けていただいたこの命で、今度は自分が臨床心理士として誰かの支えになりたいと思う。精一杯生きて夢を叶えたいと思う。精一杯希望の光は常に輝いているのだから。

部活動と親と「当たり前」

七葉中学校3年 倉島 優飛

部活動では、どうしても選手自身のパフォーマンスや努力だけを評価してしまいがちですが、忘れていけないのは、そこに至るまでの両親の苦勞です。

だから、部活動を続けられることを、決して「当たり前」と思わないでほしいのです。

感謝の気持ちを忘れず、得られた成果を親と分かち合っしてほしいと思います。

わたしの主張「新発田市大会」

講評 審査委員長

加治川中学校長 星 渉

1点目は、どの発表もリアルな体験や経験が語られており、とても伝わってきました。リアルな体験や経験には訴えかける力があります。その体験が壮絶であればあるほど、聴く人の心を動かしします。

2点目は、発表の仕方です。強弱をつけたり、感情を込めて話したりと、精一杯伝えようと工夫がなされています。原稿を読んだ時と実際に主張を聞いた時では、インパクトが大きく違いました。審査員から「今年はレベルの高い主張大会であった」という多くの声がありました。



審査の結果、次の5名が8月23日の三市北蒲原地区大会に進み、各賞を受賞されました。また、最優秀賞の和田かな子さんは、9月21日の県大会に出場し、見事、最優秀賞を受賞されました。みなさん、おめでとうございます。

最優秀賞	第一中3年	和田 かな子さん
優秀賞	本丸中3年	長谷川 彩乃さん
//	猿橋中3年	笠原 夢芽さん
奨励賞	紫雲寺中3年	横野 文矢さん
//	豊浦中3年	渡邊 心さん

活動報告

東中学校区すこやかな子どもを育てる会



若杉会長からは、東小学校の開校をきっかけに、教職員、保護者、地域がともに協力し、充実した交流に向けた取り組みの紹介をいただきました。

記念アトラクション

新発田高等学校合唱部



2年生4人、1年生1人で活動する皆さん。当日は、校歌やヒット曲などを演奏いただきました。その素晴らしいハーモニーには会場から盛大な拍手が送られました。

功労者表彰式

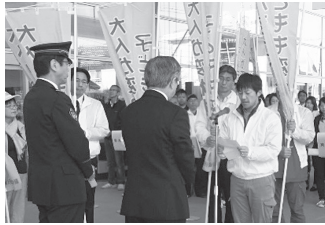
おめでとうございます



- 熊倉 三喜男 様
(ボーイスカウト新発田第1団)
- 中村 光子 様
(住吉小学校区青少年育成協議会)
- 山崎 英史 様
(新発田市少年補導委員会)

11/3 青少年健全育成 (日・祝) 「市民一斉パトロール」

皆様のご参加を
お願いします!



(昨年度の出発式)

出発式 パトロール等



午前10時～ 市役所本庁 札の辻広場

午前10時30分～正午 各中学校区ごと

※パトロール等の詳細は、お住まいの各地区育成協議会又は新発田青少年健全育成市民会議事務局へお問い合わせください。

青少年を取り巻く社会環境の実態調査報告

(1) 有害図書の販売状況 (書店)

	28年度	29年度	30年度	元年度
店舗数	11	10	10	9
有害図書あり	9	8	6	5
未区分陳列	2	0	0	0

※大手コンビニ3社が有害図書の取扱いを今後中止とすることから、コンビニは今年度から調査対象外となります。

(2) ゲーム場の設置状況 (隔年調査)

	27年度	29年度	元年度	
店舗数	6	5	4	
形態	専門店	3	2	2
	大型店内のコーナー	2	2	2
	小型店での設置	1	1	0
夜10時以降も営業	4	3	1	

(3) その他

	28年度	29年度	30年度	元年度
有害図書類等自動販売機	2	2	2	2
DVD等貸出店(成人向けあり)	未実施	4	未実施	4
エアガン等がん具取扱店	未実施	1	未実施	1

毎年7月、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の取り組みの一環として、青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、非行防止活動を行っています。

今年度も、各地区のPTA役員、町内会役員、市民会議役員、補導委員など、合計133人の方々にご協力をいただき、巡回調査を実施しました。

事業者の皆様におかれましては、今後とも、県条例に従い、青少年への販売等は行わないようご協力をお願いします。



あしがき

七月のある暑い朝、自宅横の地面にまだ幼いスズメ一羽が巣から落ちて、ピーピー鳴いていました。親鳥が必死に、何とか助けようと思えばまできていました。

巣の場所がわからないので、日陰に段ボールの切れ端を用意して、そっと置いてやりました。夕方戻って見てみると、幼鳥は天国に旅立った後でした。驚いたことに、幼鳥はなんと親鳥が運んできた昆虫をくわえたまま死んでいました。スズメ親子の命をつなぐ必死の営みに感心させられました。

二学期がスタートして、今年度の「はばたき」一号をお届けいたしました。事業活動も後半に移りますが、これからも読みやすい広報誌づくりに努めていきたいと思えます。

(編集委員 細野明夫)

発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号
電話 (〇二五四) 二六一〇八九七

編集委員

猿子 洋司 水野 善栄
遠山 明美 浅倉 真美
細野 明夫